

	NPO 法人 京都観光文化を考える会 <b>都草だより</b>	第50号 発行人：小松香織 編集人：西野嘉一 発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁日本館2階 電話：075-451-8146
---	------------------------------------	--

【都草だより第50号の発行にあたり創刊号編集長の亀田さんに当時の思い出を語っていただきました】

## ■『都草だより』発刊の思い出！



私に思い出話をする機会を与えていただき、ありがとうございます。早速古い手帖を探しましたが、2010年以前は処分済か見つかりません。結局記憶頼りのため思い違いが多々ある点をご容赦下さい。

さて2007年、都草設立総会後のフリートークで機関紙を「発行しよう、やってみようという方は？」の声掛けに、ヒョいと乗っかりました。総会の好ましい雰囲気や坂本理事長（当時）のお人柄から、なにかお手伝いしたいと思ったのです。機関紙作成も編集も全く未経験の小生が、実に浅はかな行動でした。

その当時都草は事務局がなく、会合は全て「ひとまち交流館」のフリースペースを利用。月に1～2回の編集会議の為、会議開始2～3時間前に入り、場所取りをして諸準備にかかる日々でした。当初はまず機関紙の名称と編集方針について侃々諤々の議論の楽しい時間でした。名前は今も継承されている『都草だより』に決まりました。編集方針は大きく二つの意見に分かれ、一つは、都草の活動内容を伝える、会員同士のコミュニケーションの場というオーソドックスな意見。もう一つは歴史好き、京都好きで深く広い知識を持つ多士済々の人材を生かし、回を重ねる毎に一冊の京都歴史本となるような機関紙を目指すという意見。結論は『都草だより』の第0号～6号にてお確かめ下さい。当時の関係者の方々に、感謝と敬意を捧げます。（会員 亀田 正昭）

## ■京都橘大学の学生と千本ゑんま堂の清掃活動でコラボ！



京都橘大学から「京都観光論」の授業の一環として、都草に講演とフィールドワーク活動の依頼がありました。そこで都草では6月に小松理事長による都草の観光に関わる全般的活動の講義に次いで、7月に観光資源の保護活動の一環としての美化活動、8月に京都御苑のボランティアガイドが計画されました。美化活動部に相談があったときは、時期が夏休み期間中ということで、暑いさ中での清掃活動を体験してもらうことに、多少躊躇する気持ちがありました。

一方、「京都観光論」を学ばれる学生さんのほとんどが、京都以外から学びに来られているとのお話を伺い、「千本ゑんま堂（引接寺）」の美化活動の体験を通じて、京都について学んでもらう良い機会になるのではないかと思います。

「千本ゑんま堂」は、お盆の行事を控えて人手が足りないことから、都草では毎年、この時期に清掃活動を行なっております。そのお手伝いを都草会員と共に体験していただく案に、美化活動部メンバーも諸手を挙げて賛同、正式にお引き受けすることにしました。

今年は、連日「不要不急以外の外出はひかえるように！」といわれる程の例年になく暑さの中での美化活動となり、不安もありましたが、熱中症で気分を悪くされることも無く無事終了できました。終了後は、閻魔大王の前で庵主さんから「京都のお盆」などについてのお話があり、学生さんにもしっかりと学んでいただけたと思います。（理事 伊藤 義男）

## ■大学コンソーシアム京都の講座を担当して



8月9日と10日の2日間、キャンパスプラザ京都において、大学コンソーシアム京都の講座のひとつ、「京都の文化・歴史・観光—京都検定への誘い—」の講師を担当しました。これは京都産業大学と京都商工会議所が共同で開催しているもので、全15回の講義のうち、都草メンバーが6回分をお手伝いさせていただきました。

この講座には京都府内の各大学の学生が受講しています。第15回目の最終日の講義で試験を受けて、合格すると2単位取得できるそうです。

今年は、受講登録者が増加したとのことで、都草が担当した6回の講義の受講者は、各回とも約100人と盛況でした。

私は、去年に引き続き、2回目の講師担当です。去年に引き続き京都の年中行事について講義しましたが去年の経験をもとにどの程度の内容を盛り込んで、どんな風にお話すれば、いかに興味を持って1時間半の講義を聴いていただけるかを念頭において準備し講義に臨みました。

受講生の約半数は京都府以外の出身で、すでに京都検定3級合格という方もいらしたようです。今回の受講をきっかけに、京都に関わる様々な事柄にさらに興味を持っていただき、多くの受講生が京都検定試験にチャレンジしてほしいと思っています。(会員 井上 かおり)

- |        |                          |                               |
|--------|--------------------------|-------------------------------|
| ○8月9日  | ・京都三大祭～葵祭、祇園祭、時代祭 (岸本幸子) | ・菓子と料理 (藤井久美子)                |
| ○8月10日 | ・年中行事 (井上かおり)            | ・芸術・文化 (茶・花・能楽・歌舞伎・花街) (西田民子) |
|        | ・京のならわしと伝統工芸品 (西田民子)     | ・京都びとの信仰と縁起物 (寺内博紀)           |

## ■京都伝統工芸大学校の講師をして

今年も「京都学」の依頼を京都伝統工芸大学校(園部)から頂き、5月2日から夏休みをはさんで9月5日までの15回を4人の講師で担当しました。

伝統工芸の未来を担う学生に「どう京都のことを伝えようか…」と、去年は産みの苦しみの日々が続きました。「話の組み立て」もさることながら、一番苦労したのが時間配分です。学校の講義なので早く終わるすぎるとダメですが、時間オーバーはもっとダメです。そのため、原稿を作って時間を計りながら何度も何度も練習をしました。また、「何のために京都を学ぶのか、京都学を通して何を期待しているのか」ということも伝えるように努めました。

今年は、去年の講義内容をベースにしつつも、さらにブラッシュアップさせ、「さらによい講義」となるように、講師陣で密に連携してがんばりました。学生から毎回提出されるレポートには、様々な感想や質問、要望が書いてあります。真剣に講義を聴いていらっしやることもわかり、講師にとって以降の講義の参考になりましたし、とても励みになりました。また素晴らしい洞察力に基づくコメントや、たいへん高質な意見を書いてくださる学生もいて、「もし私が同じ講義を受けたとして、こんなコメントが書けるだろうか…」と思ったりもしました。次回の講義の冒頭に右のようなスライドをつくり質問に答えることで、講師も成長できる機会でした。

(会員 室 千津子)


**余談**      **前回(3月)について①**

・ご感想、ありがとうございました

- ハナクソ(涅槃会)の反響、大
- ひなまつり
  - ・ 子供の頃のことをいろいろ思い出した♪
  - ・ 男子しかいなくて経験したことがなかったので新鮮
  - ・ 起源に「へえ〜！」

上巳の祓 from 中国 + ひいな遊び Made in 日本

- ・ 並べ方、それぞれの役割にも「へえ〜！」



2018/06/20
NPO法人 京都観光文化を考える会・都草 監
1